

第 7 回 大崎上島町振興基本計画審議会 議事要旨

【開催概要】

会議名 第7回大崎上島町振興基本計画審議会
 開催日時 令和7年3月13日（木）13時40分～14時40分
 開催場所 大崎上島町本庁2階会議室（大崎上島町東野6625-1）

出席者 22名

氏名	団体名	役職	出席者
有田 卓也	大崎上島町社会福祉協議会	会長	○
浅岡 法光	大崎上島町連合区長会	会長	○
児玉 昭彦	大崎上島町連合区長会	副会長	○
山田 泰三	大崎上島町連合区長会	副会長	○
信谷 裕	大崎上島町商工会	会長	○
金子 仁	広島ゆたか農業協同組合	代表理事組合長	代理：近藤 範之
中村 修司	大崎内浦漁業協同組合	代表理事組合長	○
濱中 国雄	大崎上島漁業協同組合	代表理事組合長	○
下末 法子	大崎上島町商工会女性部	部長	○
岡田 太郎	大崎上島町商工会青年部	部長	欠席
中原 幸太	大崎上島町観光協会	会長	○
逸見 真	広島商船高等専門学校	校長	○
岩崎 太郎	大崎上島町農業委員会	会長	欠席
森本 儉	大崎上島町民生委員児童委員協議会	会長	○
堀 一朗	青少年育成大崎上島町民会議	会長	○
田房 明美	大崎上島町女性会	会長	代理：賀川 一枝
末田 尚行	大崎上島町PTA連合会	会長	○
信谷 俊樹	大崎上島町議会	議長	○
水橋 直行	大崎上島町議会	副議長	○
閑田 大祐	総務福祉文教常任委員会	委員長	○
森若 厳	産業建設常任委員会	委員長	○
小田 博	大崎上島町	副町長	○
佐々木智彦	大崎上島町教育委員会	教育長	○
坂田 誠	大崎上島町	総務課長	○

【開会】

＜事務局 第7回大崎上島町振興基本計画審議会開会宣言＞

【1 有田会長挨拶】

＜有田会長挨拶＞

委員の皆様におかれましては、第7回大崎上島町振興基本計画審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

早いもので、年が明けてあつと言う間に3月も中旬となり、本審議会も最終回を迎えることとなりました。

先日は、開校6年目となりました広島叡智学園が1期生45人を初の卒業生として送り出し、海外の大学およそ30校に合格したことなどが報道され、話題になりました。地元で学ぶ子ども達にとっても、良い刺激になったのではないかと思いますし、町内外から憧れの学校となることを期待しているところです。

さて、前回の審議会では、「総合計画に対する意見募集の結果」についての報告や、これまでの議論を踏まえた、人口ビジョンと総合戦略の原案などについて、事務局から説明があり、皆様からさまざまなご意見をいただきました。

本日は、第6回審議会以降の主な修正箇所や、「人口ビジョンと総合戦略に対する意見募集の結果」について、事務局から説明があると伺っております。

本日は答申案も出てきています。最後の開催となりますが、委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【2 協議事項】

2-1 【大崎上島町第3次長期総合計画】

会長	これより議事を進めさせていただきます。 2の協議事項に入ります。「(1) 大崎上島町第3次長期総合計画」 について、事務局から説明をお願いします
事務局	＜資料1説明＞
会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はありません でしょうか。
各委員	＜意見なし＞
会長	続きまして、資料2について、事務局から説明をお願いします。
事務局	＜資料2説明＞
会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はありません でしょうか。
委員	上水道関連で質問です。PFAS（有機フッ素化合物）の値を広報

	されていますか。
事務局	水道水に関しては広域化され、広島県水道広域連合企業団に権限が移っているため、現在、町としては介入していない状況です。
委員	水道水の安全性については広報していないという理解でよろしいでしょうか。
事務局	広島県水道広域連合企業団が対応しています。
委員	住民の健康に関わることで、都度、的確に広報等の情報発信が必要と考えています。
委員	63 ページに、「テレビ難視聴地域は無く、携帯電話も町内全域で利用可能となっています。」と記載がありますが、そのような地域もまだありますので、書きぶりを工夫していただきたいと思います。
事務局	検討して対応します。
会長	続きまして、資料3について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料3説明>
会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	<意見なし>

2-2【大崎上島町第3次地方人口ビジョン・総合戦略】

会長	続きまして、協議事項「(2) 大崎上島町第3次地方人口ビジョン・総合戦略」について、株式会社さとゆめから説明をお願いします。
株さとゆめ	<資料4説明>
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	<意見なし>
会長	続きまして、資料5について、説明をお願いします。
株さとゆめ	<資料5説明>
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
委員	専門部会のお話がありましたが、広報枠を設けることは考えているのでしょうか。
事務局	ぜひ考えていきたいと思います。
委員	緻密な分析や丁寧な説明をいただいたのですが、大事なことは「何をどうするか」ということだと思います。高校生たちの意見を吸い上げるような機会も重要と思いますが、いかがでしょうか。また、どのように反映していくのかもお聞かせいただきたいと思います。
委員	住民の声を反映させるための現状の制度に何がありますか。

事務局	住民の声を反映させる方法にはご意見箱や、今回の計画策定でも実施したパブリックコメントがあります。パブリックコメントは、計画の原案を閲覧できる期間を設け、住民からの意見をいただき、町はその意見を踏まえながら、計画策定に反映していく形になります。
事務局	また、報告会の後には、36 地区において、誰でも参加可能なスタイルでの意見交換を実施したいと考えています。
委員	意見交換の内容をまとめてどのように活用されるのでしょうか。
事務局	昨年度、36 地区でいただいた意見を踏まえながら、この度の計画策定を進めました。
委員	<p>住民に施策を理解していただくには、シンプルでわかりやすいことが重要です。「人を増やす」「子どもを増やす」「移住者を増やす」「観光客を増やす」、そういった施策が全て計画の中に入っています。以前も申し上げましたが、第2次長期総合計画で達成率が78%程度だったと思いますが、その達成できなかった部分について、しっかり見直しをしてもらいたいと思います。</p> <p>審議会でいつも思うのは、町民に将来の希望を与えられるような施策、いわゆる「目玉施策」がどれに当たるのかということです。「これが目玉です。攻めの施策はこれです。」という施策はありますか。</p>
事務局	総合戦略に位置付ける施策の全てが目玉だと思っています。
委員	非常に丹念に緻密に練られていると思います。きちんと現状を踏まえた上で、最善の努力をしていくことが重要と考えます。ぜひ、頑張ってくださいと思います。
委員	専門部会では、若手職員による情報発信に関して、SNS等を利用した新しい情報発信のあり方を検討されると説明がありました。防災行政無線放送が入りにくい地域もありますので、LINE等を活用し、防災の側面についても考えていただければと思います。
事務局	LINEを活用した運用についても検討しています。
会長	続きまして、資料6について、説明をお願いします。
事務局	<資料6説明>
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	<意見なし>
会長	<p>本日の議事については、以上となります。スムーズな進行にご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p>

【3 大崎上島町長挨拶】

<谷川町長挨拶>

このように7回の審議会を経た上で、まとめていただきました事に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日の説明でもありましたように、役場の職員だけで実行するには難しいところもあります。皆様方の引き続きの関係でご意見を頂戴することはもちろん、町民お一人お一人、あるいは業界、会社の一社一社からの声も踏まえながら形を整えて、皆の力を合わせて総合力で、地域の皆さんには「何からできるか、始められるか」ということも含めてお話をしていきたいと思います。それぞれの業界の中でもいろんなお考えもあると思いますので、足を運んで話を聞きながらやっていくことが必要だと考えています。10年というのはすぐ過ぎてしまいます。

そういう意味で、1年目は議論を十分にしてお互いその気になって、「一笑懸命」、明るい未来をこう目指したことも含めて、笑顔になりながら、面白がってという意味も含めて、一緒になって物事を作らせていただければと切に望んでいます。

今回の長期総合計画の策定はこれまでよりも一層皆様のご意見を頂戴しました。極端に言うと、全国でここまでやったものというものは無いと思います。先ほど、「目玉は何か」というご意見もありましたが、全ての可能性がございます。これから皆さんとの議論を深め、国の交付金や民間資金を活用しながら、また寄付をいただくような大崎上島町ファンクラブも運営させていただきながら、プロジェクトを進めていければと考えています。

そういう熱い思いを持って、職員一同が一字一句を検討して、最終案をまとめました。これまで、「役場の職員はなっとらん」というお声をたくさんいただいています。頑張りとうとする気持ちを持って、一丸となってやろうとしているということをご容赦いただき、これから手と手を携えて、日本一、いや世界に冠たる大崎上島になるよう、10年で道筋ができればと考えています。

本当に7回の審議に心から感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

【閉会】

<事務局 大崎上島町振興基本計画審議会閉会宣言>

以上